

市町村における依存症対策の調査について（調査結果概要）

保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課

1 調査目的

道では依存症対策として、北海道アルコール健康障害対策推進計画及び北海道ギャンブル等依存症対策推進計画を策定後、各計画に基づき対策を推進していることから、住民に身近な市町村における依存症対策の実態について把握し、今後の依存症対策の推進に活用する。

2 調査対象・回収率

札幌市を除く178市町村

回収率 100%

※ 2つの部署から回答のあった市町村が2か所（千歳市・釧路市）

3 調査期間

令和3年1月21日～令和3年2月12日

4 調査方法

簡易申請システム(インターネット) により調査

5 調査結果

(1) アルコール健康障害及び各種依存症に関してどのような問題・相談がありますか。また、背景にアルコール健康障害及び各種依存症があると感じた相談はありましたか

	回答数	割合(%)
相談あり	121	68.0
相談なし	57	32.0

(2) 依存症対策(啓発活動) などを実施していますか

	回答数	割合(%)
実施している	65	36.5
実施していない	113	63.5

(3) 実施している場合、該当するものに○をつけてください

	該当○
ギャンブル等	15
アルコール健康障害	54
薬物	27
その他	8

→ゲーム依存5、摂食障害1、ストレスチェック1、たばこ1

<調査結果概要>

- ・ 簡易申請システムによる調査とし、全ての市町村から回答を得た。
- ・ 相談対応のあった市町村は121か所(68.0%)だった。
- ・ 市町村における相談対応の主な内容(重複)

アルコール健康障害・依存症	103か所 (57.9%)	過量服薬	3か所 (1.7%)
ギャンブル依存	4か所 (2.2%)	生活保護	9か所 (5.1%)
ゲーム依存	9か所 (5.1%)	生活困窮	6か所 (3.4%)
薬物依存	4か所 (2.2%)	治療につながりにくい	18か所 (10.1%)
家族から相談	53か所 (29.8%)	否認	10か所 (5.6%)
高齢者	21か所 (11.8%)	専門医療機関等が遠い	12か所 (6.7%)
認知症	8か所 (4.5%)	社会資源がない・遠い	7か所 (3.9%)
暴力暴言・DV	29か所 (16.3%)	健診で把握など	10か所 (5.6%)
多量飲酒	12か所 (6.7%)	肝疾患など	4か所 (2.2%)
独居	15か所 (8.4%)	AUDIT	3か所 (1.7%)

- ・ アルコール健康障害・依存症に関する相談対応が最も多く103か所の市町村で相談対応の回答があった。
- ・ ゲーム依存の相談も9か所あり、児童生徒の生活リズムの乱れや不登校の相談を受けていた。
- ・ 家族からの相談が多く、高齢者のアルコール問題、暴力やDV、独居、生活保護、生活困窮等の背景がある相談対応が目立った。
- ・ 否認があり、医療機関が身近にないことなどから治療につながりにくい。
- ・ 特定健診でアルコール健康障害のある人の把握がされているが、AUDITを活用しているところは少数にとどまっている。